

部局名	子ども部	所属名	母子保健課	所属長名	太田 しづ江	電 話	486-7250
-----	------	-----	-------	------	--------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード		3187		事務事業名称		予防接種事業					短縮コード		経常	3187		臨時					
予算区分		会計	01	一般会計			款	04	衛生費			項	01	保健衛生費			目	02	予防費		
区 分		☒ 自治事務			☐ 法定受託事務			根拠法令等		予防接種法に基づいて実施。平成 1 8 年度から八千代市定期外予防接種実施要領に基づき実施。											
		☐ その他																			
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																					
・昭和23年予防接種法における一類疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎）並びに昭和26年結核予防法の規定に基づいてＢＣＧ予防接種を実施してきた。結核は、平成19年3月23日感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部改正により、２類感染症と定義され、ＢＣＧ予防接種については予防接種法による予防接種となった。 ・平成18年度から八千代市定期外予防接種（ＢＣＧは医学的理由により6か月未満に接種できなかった1歳未満の乳児、DPT3種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）１期は接種間隔8週間を超えた者、日本脳炎１期は接種間隔４週間を超えた者、日本脳炎２期は１期を0回または1回接種の者）を実施。 ・麻しんの流行により、臨時的麻しん予防接種（2歳以上7歳6か月未満で未接種の幼児とMR２期を未接種）を19年度のみ実施する。																					
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測							総合計画の施策体系	5本の柱（章）		01	健康福祉都市をめざして										
・近年の伝染病の発生状況、医学の進歩、生活環境の改善、予防接種に関する国民の意識の変化など予防接種をとりまく環境が大きく変化し、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちとなっているが、予防接種の対象者は、予防接種を受けるよう努めなければならないこととされている。平成16年度より千葉県定期予防接種相互乗り入れ制度が開始され近隣市のかかりつけ医での接種が推進される。 ・平成17年から日本脳炎は日本脳炎ワクチンを接種した後の重症のADEM（急性散在性脳脊髄炎）との因果関係があることから積極的受診勧奨の差し控えがある。日本脳炎の新ワクチン開発が見込まれる。 ・平成18年4月より麻しん風しん混合の新たなワクチンの開発により、予防接種法施行令等の改正があり、麻しん風しんは２回接種となる。 ・平成19年は、中学生、大学生の麻しんの流行が問題になり、麻しん撲滅のため、時限的措置により平成20年度から麻しん風しん混合予防接種によるMR3期（中学1年生）とMR4期（高校3年生相当）が定期予防接種として導入された。 ・今後は新たな感染症が発生することが推測される。								大項目（節）		01	保健・医療										
								中 項 目		01	保健										
								小項目（施策）		02	疾病対策の推進										
								細 項 目		02	感染症対策										
実施計画の計画事業																					
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～				計 画 事 業 費			千円							

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	◎定期予防接種は、市内に在住する生後3か月～7歳6か月未満の乳幼児及び9歳～13歳未満の児童。 ◎八千代市定期外予防接種（ＢＣＧは医学的理由により6か月未満に接種できなかった1歳未満の乳児、DPT3種混合１期は接種間隔8週間を超えた者、日本脳炎１期は接種間隔４週間を超えた者、日本脳炎２期は１期を0回及び1回接種の者）。											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 1 対象年齢に合わせ、２か月児、小学校に就学前1年間の幼児、11歳の学童に予防接種予診票を送付し個別通知による接種勧奨を実施。 2 10か月児赤ちゃん広場で麻しん風しん混合予防接種1期と3種混合1期追加の予診票を手渡し、麻しん風しん混合予防接種等の勧奨をする。 3 接種場所は、乳幼児・児童は個別委託医療機関で実施。・ポリオのみ保健センターで集団接種で実施。 4 就学前1年間に接種する麻しん風しん混合予防接種2期の接種率向上のため、就学時健診で健康教育を実施。未接種者には個別通知を実施。 5 麻しんの流行により定期外の臨時的麻しん予防接種を19年5月15日から8月31日まで実施。 ※平成20年度に計画していること： 1 接種率向上のため、対象者の月齢や年齢に合わせ個別通知する。 2 ポリオ予防接種は保健センターで年３５回、集団予防接種を実施する。 3 八千代市定期外予防接種（BCG・DPT3種混合・日本脳炎）の実施。 4 麻しん風しん混合予防接種の3期（中学1年生）、4期（高校3年生相当）を実施。接種率向上のため関係機関（教育委員会、市内高校など）と調整する。											
意図 （何を狙っているのか）	予防接種を受けることにより、感染症にかからない状態にすることや、集団発生を予防する。											
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外											
区 分					単位	1 8 年度		1 9 年度		2 0 年度		
						実績		計画	実績	計画		
対象指標	指標 1	市内に在住する生後3か月～7歳6か月未満の乳幼児の数			人	17, 248		18, 000	16, 667	17, 500		
	指標 2	市内に在住する11歳の児童数			人	1, 864		1, 900	1, 875	1, 900		
	指標 3											
活動指標	指標 1	市内に在住する生後6か月未満の乳児でBCGの接種者数			人	1, 899		1, 919	1, 781	1, 848		
	指標 2	市内に在住する11歳の児童でDT2種混合の接種者数			人	1, 264		1, 861	1, 164	1, 565		
	指標 3											
成果指標	指標 1	市内に在住する生後6か月未満の乳児でBCGの実施率			%	99. 6		99. 8	99. 7	99. 8		
	指標 2	市内に在住する11歳の児童でDT2種混合の実施率			%	69. 5		80	62	80		
	指標 3											
上位成果指標	指標 1											
	指標 2											
	指標 3											

コード	3187	事務事業名称	予防接種事業				所属名	母子保健課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			システム運用により、現状維持で接種率の向上に努めたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			システム運用により、現状のまま未接種者への接種勧奨を行うことにより、接種者が増大するため接種率が向上し、その結果コストは増加するが、感染症の流行を防ぐことができるため、成果は向上する。日本脳炎予防接種が17年度から積極的勧奨の差し控えが継続しているため、今後新ワクチン開発が認可された場合は、対象者が増加し、委託料が増大することが予測される。		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☒			
		不 変	☐	☐	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
《市民からの要望》 ・関係機関から未接種者への接種勧奨に努め、乳幼児・児童の接種率の向上を図ること。 ・小・中学生の予防接種歴がわかるよう求められている。 ・議会より、子どものインフルエンザ予防接種の助成をするよう要望がある。 ・麻しんの流行により、中・高校生、大学生の保護者から、公費負担で麻しんの予防接種ができるよう要望がある。									

所属長コメント	感染症を予防するには、予防接種率を向上させ免疫レベルを一定以上に保たなければならない。市民の予防接種に関する知識、意識の向上を図るため、当事者、医療機関など関係機関に働きかけていくことが重要である。特に20年度からは「麻しん撲滅」のため麻しん風しん混合予防接種が新たに3期（中学1年生）、4期（高校3年生相当）が実施されるため接種率向上に向け、19年度に導入した電算システムを有効に活用したい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			今後も未接種者を早期に把握でき、接種勧奨を的確に行い接種率の向上を図るべき					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									